

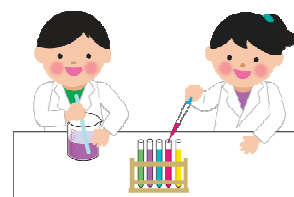
水の中の粒子について考えよう

～ 最先端の水処理技術を体験！中空糸膜を使った実験など～

参加
無料

固体と液体の混合物から液体だけを取り出す際に、理科実験では「ろ紙」を使いますが、「中空糸膜」は「ろ紙」より目が細かいため、例えば、絵の具の色水から色の粒子を取り除くことができます。

実際の水処理でも使用されている中空糸膜を使った実験を通して、科学技術が身近な生活で役立っていることや、地球環境問題の解決に貢献していることを知り、発明ものづくりへの興味・関心を高めます。



水に溶けるってどういうこと？
溶けたものを取り出す方法は？

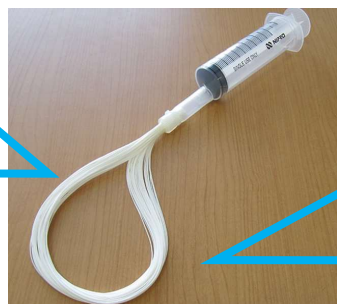


ピストンを引くと、色水が
中空糸膜を通過してろ過されます



ろ過された液体は透明に!!

ストローのような
形状の中空糸膜を
束ねてループ状に
しています



ろ過水

色水

絵の具の
粒子

中空糸膜（ちゅうくうしまく）とは？

白いひものように見えるものが中空糸膜です。内部は空洞になっていて、その壁の部分には小さな孔がたくさんあります。

この孔を通り抜けられる粒子（例えば水分子）と、通り抜けることのできない粒子（例えば色水の色成分）とを分離します。不純物を除去するなどの用途に広く使われています。

●日時 / 2023年8月19日（土）10:30～12:00

●会場 / 滋賀県工業技術総合センター別館1階
滋賀県栗東市上砥山232

●講師 / 東レ株式会社
CSR推進室 中嶋 環 氏

定員 / 先着16名（対象：小学校5,6年生）

申込 / 電子メールで、参加者氏名、学校名、学年を記載のうえ8月17日までにお申し込みください。

主催 / 一般社団法人滋賀県発明協会 栗東市上砥山232 info@jiii-shiga.jp TEL 077-558-4040